

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

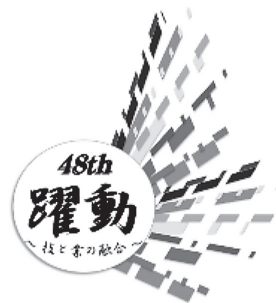
第48回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：令和2年12月6日(日)

会場：大宮ソニックシティ

テーマ：躍動

サブテーマ：～『技』と『業』の融合～



学会公式LINE
アカウント

抄録作成の skill up ポイント

第48回埼玉県医学検査学会
学術部 小俣 諭子

5月に入り、若葉が香り爽やかな季節になってきました。

私は、第48回埼玉県医学検査学会で学術担当をしている獨協医科大学埼玉医療センターの小俣諭子と申します。皆さんご存じかと思いますが、5月1日(金)から抄録登録が開始しました！私が初めて学会発表を経験したのは埼玉県医学検査学会です。当時を思い返すと訳も分からず戸惑いながら抄録を書いたことを覚えています。きっと今回、演題(学会)発表を決意していただいた方の中にも、抄録作成に慣れていないという方もいるでしょう。そこで私なりに抄録作成の skill up のポイントをお伝えし、少しでも皆さんの抄録作成に役立てていただけたら幸いです。

抄録を書く前に皆さんにお勧めすることは、過去のいろいろな抄録をみることです。先人の抄録には上手な表現のエッセンスが詰まっており、その中で素晴らしい表現を見つけたら積極的に取り入れていきましょう！参考になりそうな抄録を見つけた方は、いざ抄録作成です！抄録は物語と一緒に面白そうな本を選ぶ気持ちで考えてみましょう。皆さんが書店で本を選ぶ際、まず題名を見ると思います。本の題名が【演題名】です。演題名は簡潔で発表内容がわかり易い題名を付けましょう。自分だったら発表を聴いてみたいと思うような(時にはインパクトのある)題名を考えるといいと思います。演題名が決まったら文章作成に移ります。文章の基本は起・承・転・結です。起承転結の起は【背景・目的】、承は【対象・方法】、転は【結果】、結は【考察・結語】の様に4つのパートに分けて構成していきます。

①【背景・目的】は背景を踏まえ、自分が何を明らかにしたいのか短くまとめましょう。

- ②【対象・方法】は対象の基準や、実際に行った検討データ、データの抽出方法、評価方法について客観的に記載しましょう。
- ③【結果】は対象・方法に則り、得られた事実や数値のみを記載しましょう。
- ④【考察・結語】の考察は結果から導き出した飛躍のない自分の考えと残課題、今後の展望を記述し、結語で明らかになった知見を簡潔にまとめましょう。

自分なりの抄録が完成したら、先輩技師や上司に何度かチェックしてもらいましょう。誤字脱字は勿論のこと、さらに的確な表現(技)を教えてくれるはずですよ！また、一般演題の本文は26文字×18行×2段=936文字以内です。句読点はカンマ「,」、ピリオド「.」を使用といった注意点もあります。抄録は日本臨床衛生検査技師会総合情報システム(JAMTIS)を用いたテキスト入力方式、ファイルアップロード方式のいずれかで作成しましょう。ファイルアップロード方式で使用するMicrosoft Wordファイルは、学会ホームページからもダウンロードできます。文字数設定済みで、アップロードも簡単なのでお勧めですよ！詳しくは学会ホームページをご覧ください。それでは、多数の演題の申込みを楽しみにしています。



令和2年度 会員名簿の作成について

5月31日の日臨技登録者情報を基に名簿を作成いたします。

新規入会、異動や退職での施設名などの変更等がございましたら、お早めに日臨技HPの会員専用ページからログインして登録変更をお願いいたします。

なお、変更の手続きはご本人でないと行えません。退職者にはご施設から登録変更のご連絡をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、埼臨技事務所にご相談ください。

今年度は、会員からの多くの要望で紙媒体での発行となります。

配布は会員の所属する施設および賛助会員に1部、各研究班に2部、会員個人には希望される方だけに配布いたします。会員名簿を希望される方は下記の通りお申込みいただきますようお願いいたします。

また会員名簿への不掲載を希望される方につきましても、同様にお申込みいただきますようお願いいたします。

なお、以前より不掲載を希望されていた方につきましては、本年度も継続いたしますので連絡は不要です。

申込期限：令和2年5月31日(日)

メールまたはFAXでお申込み下さい。

件名(標題)を「名簿配布希望」または「不掲載希望」として、会員番号および氏名、勤務先変更の場合は新勤務先を送信して下さい。

連絡先：公益社団法人埼玉県臨床検査技師会事務所

TEL：048-824-4077 FAX：048-824-4095

E-mail：sairingi@sairingi.com



**令和2年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第1回 理事会議事録**

(定款第33条第2項の規定によるみなし決議に関する議事録)

議案書発送日：令和2年4月9日(木)

議決日：平成2年4月13日(月)

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

参加：(理事) 神山 岡田 矢作 松岡 小山
濱本 山口 猪浦 鳥山 阿部
奈良 長岡 小島 神嶋 菊池
長澤 伊藤 濱田 笹野 石井
神戸 久保田 (理事全員)
(監事) 細谷 遠藤 (監事全員)

Ⅰ. 行動報告 (令和2年3月12日～令和2年4月8日)

3月12日(木) 令和元年度第12回理事会：

神山、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、神嶋、菊池、長澤、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、猪浦、鳥山、阿部、久保田、遠藤

3月14日(土) 会計部入力作業：神戸

3月19日(木) 令和元年度臨時会員総会：

神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本、奈良、神嶋、長澤、伊藤、笹野、石井、神戸、山口、猪浦、阿部、遠藤、細谷

3月19日(木) 役員候補者推薦委員会

(メール会議)：岡田

3月22日(日) 埼臨技学術地区別研修会 (中止に伴う立ち合い)：山口、猪浦

3月26日(木) だより491号編集会議

(メール会議)：奈良、長岡、小島、神嶋、菊池

3月27日(金) 第48回埼玉県医学検査学会 第5回実行委員会：菊池、石井、猪浦

3月30日(月) 第4回表彰審査選考委員会 (メール会議)：神山、岡田、矢作、松岡、小山、濱本

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 令和2年度埼臨技依頼の印刷社について、2社から見積もりを取った。
- 2) 3月19日(木) 令和元年度臨時会員総会を開催した。
- 3) 日臨技より第69回日本医学検査学会の開催延期の案内が届いた。
- 4) 公益財団法人黒住医学研究振興財団より2020年度 第28回研究助成事業募集の案内が届いた。
- 5) 有限会社メディサイエンスより第47回埼玉県医学検査学会市民公開講座リーフレットを依頼元ホームページへ掲載したいとの依頼が届いた。
- 6) 5月17日(日) 開催予定の第19回「乳がん市民フォーラムin春日部」開催中止の連絡が届いた。
- 7) 日本医療科学大学保健医療学部臨床検査学科新設に伴い、要望書を送付した。
- 8) 埼玉医科大学入学式中止の連絡が届いた。

- 9) 公益社団法人茨城県臨床検査技師会より創立70周年記念式典の案内が届いた。神山会長、矢作副会長を派遣することとした。(その後、延期が決定した)

日時：令和2年7月11日(土) 15:30～
会場：ホテルレイクビュー水戸

茨城県水戸市宮町1-6-1

- 10) 日臨技よりアルカリホスファターゼ及び乳酸脱水素酵素の測定法の変更に係る対応についてが届いた。
- 11) 3月19日(木) 役員候補者推薦委員会 (メール会議) が開催された。
- 12) 3月29日(日) 公益法人インフォメーションに令和2年度事業計画、予算書の提出を行った。
- 13) 日臨技より事務局の在宅勤務等についてお知らせが届いた。
- 14) 日臨技より令和2年6月末日までの日臨技主催研修会等の開催延期の案内が届いた。
- 15) 公益財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会よりひとり親家庭向資格取得セミナーのお礼が届いた。
- 16) 3月30日(月) 第4回表彰審査選考委員会 (メール会議) が開催された。
- 17) 3月31日(火) 埼臨技主催の研修会 (4月16日から5月1日まで開催予定分) 中止の案内を一斉メールにて送信した。

2 総務部

- 1) 3月26日(木) 埼臨技だより 第491号編集会議 (メール会議) を行った。
- 2) 4月15日(水) 「埼臨技だより」 第491号発行予定。

3 事業部

無し

4 学術部

- 1) 令和元年度第3、4、5回編集委員会議事録を提出する。
- 2) 生涯教育プログラム6月、7月分を4月号のだよりに同封予定。
- 3) 4月開催の4研修会中止、5月は8研修会中5研修会が現在中止予定。
- 4) 3月22日(日) 埼臨技学術地区別研修会を中止とし、会場にて担当理事が対応した。
- 5) 4月2日(木) 理事研究班合同会議 (会計部会)、4月3日(金) 理事研究班合同会議 (班長部会) を中止にした。

5 精度保証部

無し

6 会計部

- 1) 令和2年度正会員費2,926名14,630,000円、入会金4名分4,000円 合計14,634,000円の入金があった。
- 2) 日臨技より令和元年度生涯教育推進研修会助成金50,000円×2、46,500円×1、ベッドサイド実践講習会助成94,280円、合計240,780円の入金があった。
- 3) 埼玉県医師会より精度管理事業 920,000円、1,221,000円、合計2,141,000円の入金があった。
- 4) 石井印刷に埼臨技会誌Vol66-No.3 428,340円、埼臨技だより第490号 113,256円、仕分費 11,946円、合計553,542円を支払った。

7 精度管理委員会

- 1) 令和元年度埼玉県医師会臨床検査精度管理事業講評会はCOVID-19の影響により中止

- になった。また、CD評価の施設に関しては是正報告書の提出を持って終了とした。
- 8 一都八県会長会議
無し
- 9 日臨技関甲信支部
無し
- 10 日臨技
無し
- 11 第48回埼玉県医学検査学会
1) 3月27日(金)第48回埼玉県医学検査学会第5回実行委員会を開催した。
2) 学会ホームページトップページを資料のとおりとする。
3) 学会LINEを作成し、学会インフォメーションに活用することとした。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和2年度分)
令和2年4月1日現在
会員数 3,125名[令和元年度会員数3,144名]
(新入会員 32名)
賛助会員 81社[令和元年度 81社]
- 2) 令和2年度委員会委員の委嘱について
- 3) 令和2年度埼臨技依頼の印刷会社は三役で協議した結果、株式会社石井印刷としたい。

2 総務部

- 1) 令和2年度 会員名簿発行について
総務部での協議の結果、来年度の会員名簿は以下のとおりとしたい。
- (1) 施設によってはCDを使用できるパソコンは限られているため、紙媒体で発行する。
- (2) 配布枚数を昨年CDと同様な配布とする。(施設に1冊、賛助会員へ1冊、研究班に2冊、配布希望会員)

Ⅳ. 議題

1 事務局

- 1 令和2年度埼臨技功労賞について
来住野修氏を推薦する。
- 2 令和2・3年度理事候補者について
役員候補者推薦委員会推薦のとおり、別紙のとおり推薦する。

- 3 令和2年度定時会員総会議案書について
資料のとおりとしたい。
- 4 会員の扱いについて
埼臨技会員の扱いを下記のとおりとしたい。
(1) 引き落とし時期以降に当会入会したものは、入会金+会費の振り込みを確認した後に埼臨技会員としての権利を有することとする(会誌・だよりのバックナンバー等は送る)。
(2) 日臨技「のみ会員」の研修会等参加は非会員と同等に扱う。(これは、HP、生涯教育PGに記載し周知する)。

2 総務部

- 1 第49回埼玉県医学検査学会会長について
飯田眞佐栄氏(株式会社アムル上尾中央臨床検査研究所)を推薦する。

V. その他

- 1 行事予定ファイルの扱いについて
各部で作成していただいた年間行事予定表をドロップボックス等を活用して共有することとする。

令和2年4月9日、代表理事である神山清志は、役員全員に対して上記理事会の議案書を発した。その結果、当該提案(承認事項並びに議題)について監事全員より異議を述べない旨の報告(確認書)が書面により提出された。また、令和2年4月13日までに、当該提案(承認事項並びに議題)について理事の全員から書面による同意(同意書の提出)を得た。よって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第33条第2項の規定により、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、理事会の決議の省略を行ったので、理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び同法施行規則第15条第4項第1号に基づき、常務理事である濱本隆明は本議事録を作成し、定款第34条の定めにより代表理事及び監事が記名押印する。

あ と が き

新型コロナウイルス感染症に対する非常事態宣言が出され、日々の生活に大きな影響が出ている昨今、皆様いかがお過ごしですか? 新緑の美しいこの時期に外出規制が出ているのは本当に残念ですね。早く鎮静化してほしいと願っています。

ところで「アマビエ」をご存知ですか?

日本に伝わる半人半魚の妖怪で、光輝く姿で海中から現れ豊作や疫病などの予言をすると伝えられている(ウィキペディア)とのこと。この「アマビエ」の姿を描いた絵が疫病退散にご利益があるとのこと、で、「アマビエ」が今ひそかにブームになっています。イラストレーターや漫画家などいろいろな方が作品を作っているそうで、皆さんもお気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか?



(神嶋 記)